

特集／第3次朝日町行財政改革大綱
町政スポット／町産業戦略会議発足 地域情報化検討会発足
「町長と語ろう」座談会始まる ほか
カメッさんぽ／町小学校陸上競技記録会
まちの話題／空気をとり グリーンクラブ
少年少女野球教室 ほか

ぼくもサックスにチャレンジだ！

山形大学吹奏楽演奏会
(6月4日：西五百川小学校)

広報

あさひまち

2005年6月号
No. 583

限られた資源

（人・もの・金・情報）の有効活用
無駄のない行財政の運営をめざして…

自立の道を選択した朝日町。

しかし、長引く景気の低迷による税収の低下や、国が進める三位一体の改革による地方交付税や補助金の減額で、町の財政はたいへん厳しい状況に置かれています。

また、行政サービスに対する町民のニーズも年々多様化、高度化し、一律的な公共サービスの維持が限界に達しつつあるのが現状です。

そんな中、財政基盤の強化や組織機構の再編、事務の効率化等を推進するための指針「第3次朝日町行財政改革大綱」がこのたび策定されました。この大綱の推進期間は平成17年度から3カ年で、取り組み課題については平成20年3月までに実現をめざす内容となっています。

今回の特集では、町がめざすこれからの行財政運営の概要についてお知らせします。



用語の解説

経常的経費

職員の人件費や地方債の元利償還金など、毎年決まって支出される経費を指します。

臨時的経費

経常的経費と異なり、その年度毎の政策に必要とされる経費。公共事業など投資的経費もこれにあたります。

小さな政府

地方へ権限を移譲する「地方分権」を進めることで、これまでの国主導による行政運営から、地方が自己決定・自己責任の原則のもとに、地域の実情に沿った行政運営を可能にしていくものです。大きくて効率性のなかった政府から、小さく効率的な政府へ転換する意味があります。

三位一体の改革

国から地方に対して配分される国庫補助負担金や地方交付税を削減する反面、税源の一部を国から地方へ移譲する

自立する自治体をめざし

町民ニーズに柔軟な改革の必要性

「朝日町行財政改革大綱」が初めて策定されたのは、今から九年前の平成八年四月。町の財政基盤の強化や役場内組織機構の再編、より効率的な事務の遂行などを目的に、大綱実現に向けた行財政運営が

スタートしました。それから四年後の平成十二年三月には同大綱を改定。町職員の能力開発と資質向上なども含めて、成果重視の行財政運営をめざした改革を進めてきました。

■財政基盤の強化と健全化

- ① 予算要求の限度額を提示する「シーリング方式」や、**経常的経費分**を予め各課に配分する「**枠配分方式**」の導入。
- ② 経常的経費削減のため、特別職報酬や管理職手当等の削減、会議負担金の廃止、時間外勤務手当の各課配分
- ③ 業務目標とその達成度合いを具体的に数値化した内容

を明確化することで、その目標に対する成果やコストなどを評価する「行政評価システム」の導入。

これらのことで、**臨時的経費**を確保しているほか、より町民の視点に立った効率的な業務遂行を実践しています。

■組織機構の見直し

- ① 組織のスリム化
税務課と町民課、建設課と

(表1)健全化前の収支見通し(財政の中期展望)

単位: 百万円

区 分		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
歳入	町 税	556	562	541	543	544	525
	地方交付税	2,408	2,285	2,180	2,080	2,015	1,975
	町 債	442	409	502	405	262	235
	国・県支出金	365	310	465	300	300	300
	繰入金	135	55	129	246	210	10
	その他	554	488	447	442	442	439
	歳入合計 (A)	4,460	4,109	4,264	4,016	3,773	3,484
歳出	人件費	1,208	1,151	1,107	1,094	1,069	1,020
	公債費	1,018	908	855	827	734	662
	投資的経費	469	318	576	370	250	250
	その他の経費	1,685	1,652	1,646	1,644	1,641	1,649
	歳出合計 (B)	4,380	4,029	4,184	3,935	3,694	3,581
形式収支 (A)－(B)		80	80	80	81	79	▲ 97

(表2)健全化後の収支見通し(自立のための財政計画)

単位: 百万円

区 分		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
歳入	町 税	556	563	542	543	545	525
	地方交付税	2,408	2,285	2,180	2,080	2,015	1,975
	町 債	442	409	502	405	262	235
	国・県支出金	365	310	465	300	300	300
	繰入金	135	60	134	246	210	10
	その他	554	488	452	454	458	455
	歳入合計（A）	4,460	4,115	4,275	4,028	3,790	3,500
歳出	人件費	1,208	1,067	989	957	901	830
	公債費	1,018	908	855	827	734	662
	投資的経費	469	318	576	370	250	250
	その他の経費	1,685	1,644	1,633	1,629	1,626	1,616
	歳出合計（B）	4,380	3,937	4,053	3,783	3,511	3,358
形式収支（A）－（B）		80	178	222	245	279	142

画一的な行政運営から、地域の実情に沿った多様な地域づくりが可能になった反面、多様化、高度化する町民ニーズに対し、これまで同様の一律的な公共サービスの提供が困難になりつつあります。従来の慣例化した行政構造を見直し、新たな時代の要請に柔軟に対応していくことが求められています。

このような時代の変革を踏まえ、町民ニーズに対応した柔軟性のある行政運営を実現していくためには、限られた資

水道事業所、農林課と商工観光課及び管理課と生涯学習課の統合、農業研究所の廃止、西・北部公民館職員の削減。

②公共施設の統廃合

平成八年から分校の順次廃校。平成十二年からは、立木小学校を皮切りに水本、送橋、上郷と、順次本校の統廃合を実施。

これらのことで、より効率性の高い施設の運営と、人的コストの削減を図っています。

■職員の能力開発と資質向上

県市町村職員研修所への派遣研修と、行政評価研修を中心とした内部研修を実施しています。

しかし、今日の社会情勢は、急速に進展する少子高齢化や国際化、情報化と共に、個人における価値観も多様化、複雑化してきています。それに加えて、バブル崩壊後の景気低迷が長期化し、町はもちろ

んのこと国や県も税収の低下が顕著になっています。つまり、行政経費(歳出)が増大する中で、歳入が大幅に減少するという課題を抱えているのが現状です。

一方で、小さな政府をめざす国の施策として、財政面における国と地方の関係に「三位一体の改革」が進んでいます。まだ先行き不透明な部分が多い改革ですが、歳入における地方交付税の割合が半数

以上(本年度の当初予算で53・6%)を占める当町においては、極めて厳しい状況を強いられることは必至です。歳出においても、経常的経費が年々増加していく中で、町の財政はかつてない危機的な状況となっています。

さらに、地方分権の推進により、自己決定、自己責任に基づく自立した地方自治体への変革が求められています。国主導によるこれまでの全国

という国の施策です。

町の地方交付税については、削減の幅は減っていくものの、平成十八年度までは億円単位で、平成二十一年度までは千万単位で削減されるとの見通しを立てています(表1、2)。

町債(表1、2内)

公共事業などを行う際に、財源不足を補てんする目的で、県の許可や議会の承認を得て自治体が発行する、事業目的別の借入金。後年度償還していく元利金の一部を、国が地方交付税で補てんしてくれる有利な借入金もあります。

繰入金(表1、2内)

町の預貯金にあたる各種基金の運用益金あるいは当該基金の取り崩し金などを、一般会計に繰り入れる金額を指します。

その他(表1、2内)

分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、繰越金、その他諸収入などが含まれます。

公債費(表1、2内)

地方債の発行に伴う元利償還金に充てる経費を指します。

その他の経費(表1、2内)

扶助費、維持補修費、物件費、出資・貸付金、補助金などが含まれます。

源（人・もの・金・情報など）を有効に活用していくことが求められます。その基本となる

る指針を定めたのが、今回見直しを行った第三次朝日町行財政改革大綱です。

町民の視点に立った協働政策 成果重視の手法で大綱を実現

現在の危機的財政状況を克服し、町の発展と町民の生活の継続的な向上に向けた、第三次行財政改革の視点となるのは次の四点です。

視点1 自立を支える 行財政基盤の確立

持続可能なしつかりした行財政基盤を確立するため、町財政の健全化に向けた取り組み

みが必要です。具体的な内容は次のとおりですが、これらのことを確実に実行することで、形式収支が前頁表1から同表2のように改善される計画です。

①今年度と次年度は、歳出の削減を積極的に進めるとともに、最終年度（平成十九年度）までに次のことを行います。

- ・各種使用料や手数料の見直し
- ・各種事業の受益者負担の見直し
- ・利用予定のない町有地の売却
- ・特定目的基金の活用
- ②経常的経費の多くを占める人件費を削減していきます
- ・職員数の削減
- ・職員の各種手当の削減
- ・職員の昇給の見直し
- ・職階制による給与の見直し
- ③内部管理経費を積極的に削減していきます
- ・委託が可能な業務の民間委

託化（具体的には次のとおり）農業研究所の管理運営、世界のりんご園の管理運営、図書館の管理運営、病院・学校の給食業務、水道施設の維持管理、役場窓口受付業務、西・北部公民館管理運営、保育園の管理運営など

⑤全体の予算規模を大幅に縮小することから、経常的業務については、効率性を判断しながら実施。投資的な事業については、緊急度の高いものから年次計画を立てて実施します。

視点2 町民と行政による 協働の推進

と「住民と行政が一体となつてやるべきこと」「行政がやるべきこと」を明確に分担化し、より効率性の高い仕組み構築が求められます。

よりよい地域社会の構築には、地域住民が主体的に行動し、且つまた協力して取り組めるような体制づくりが必要です。そのために、町民との協働によるまちづくりを積極的に推進します。

・町民と行政、各地区、各種団体、企業、NPO、ボランティア組織等との新しい

行財政改革大綱の策定に参加して…



白川千春さん(松程)

とても難しい内容で、正直言って、改革の必要性を理解できるようになるまで、時間がかかりました。これまでのような行財政の運営は難しいということ。行政も町民も、それをきちんと理解することが必要な時に来ていると感じました。

でも、子どもを育てやすい環境整備など、充実してほしいという面は確かにあります。要は、メリハリのある改革が必要だと思います。そのためにも、町民の声をぜひ反映させてほしいものです。



保利隆宏さん(大谷六)

町が行財政改革がどのように進むのかを知るいい機会だったので、説明だけでも聞いてみようと思い参加しました。

町の財政状況は非常に厳しいものがあり、歳入確保対策、歳出削減対策を実行に移していかないと、自立は困難と感じました。財政の健全化のためには、行政サイドだけでなく町民も真剣に考え、大綱に示されている具体的な方向性の実現に向け、協働の体制を確立していかなければならないと感じました。



今年度から民間委託された世界のりんご園

限られた資源(人・もの・金・情報)の有効活用

無駄のない行財政の運営をめざして…

パートナーシップの確立

②事務の見直しによる効率の向上や経費節減は、これまでも取り組んできた基本的な内容です。町民の視点に立った更なる見直しを行なうことで、より効率的で効果の高い行政運営を図っていきます。

・真に町民が望むサービスは何なのか。これまでの慣行や前例にとらわれない、職員による日々の業務改善

視点3 成果志向の行政システムの構築

これまでの対処療法的な改善策や、短期間で断片的になりがちだった事業を、事業毎に評価することで、必要に応じて目的の段階から見直しを行います。

また、歳入に見合った業務遂行を行う必要から、その目

的に沿った事業選択を行いいます。

・町民の視点に立った政策決定

・任務毎の目的と達成度(目標)の明確化

・より効果的、効率的な手段の選択

・手段と達成度合いの公開

視点4 職員の意識改革と能力開発

新しい行政手法により前述した視点2と視点3に取り組んでいくことで、職員一人ひとりの意識改革を進めます。

その手段には、様々な場面において町民との協働が図られるよう配慮します。

また、事業の必要性や効果、優先順位等の点検を行うなど、事務事業の廃止や事務改善に取り組むことで、職員のコスト意識を高めます。

本大綱推進の見届け 行財政改革審議会でチェック

この大綱の推進期間は、今年度から三カ年であり、具体的な取り組み課題については、平成二十年三月までに実現を

めざします。推進体制としては、町長を本部長とした「朝日町行財政改革推進本部」が中心となり、全庁挙げて取り

組んでいくこととなります(図1)。

本大綱の策定に向けて、昨年度までは「財政部会」と「行政部会」の二部会による検討会が庁舎内部で行われてきました。

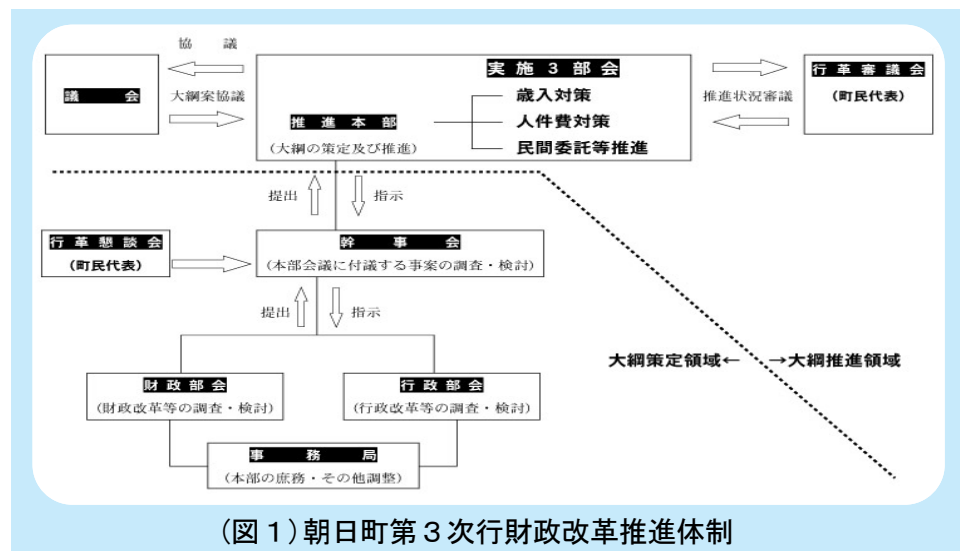
今後は、いかにして具体的な道筋を示していくかが課題となります。実際に実現に向けて動き始める今年。

「歳入対策実施部会」「人件費対策実施部会」「民間委託等推進実施部会」の三部会による検討会が行われています。

なお、それらの成果等は随時、広報紙などで町民のみなさんにお知らせしていきます。

また、この大綱が確実に実行されているかを審議する機関として、町民有識者による「朝日町行財政改革審議会」を立ち上げ、この中においても町民のみなさんの意見を反映させていきます。

このように、自立の道を選





町産業戦略会議発足 (5月30日／役場)

町民のしっかりした暮らしを築く環境づくりをめざし、新たな産業開発と振興策で雇用機会の拡大を図ろうと朝日町産業戦略会議が、5月30日発足しました。

会議に先立ち鈴木町長は、「町に元気を取り戻すために、町の将来像を明らかにした具体的な戦略で、地域内の産業や経済を強化する政策を展開したい。それには、地域の産業・経済界のみならず絶大なる協力が必要」とあいさつしました。

会議は、農協や商工会をはじめ、まちづくり活動や農業、商工業、金融、観光などの各分野で、地元を中心に活躍している方々と町職員らで構成。

今後、町外部のアドバイザーや郷土出身者の応援も得ながら、町独自の戦略形成と産業戦略推進の主役となる町民の経済活動を支援していくもので、そのための推進体制も検討していきます。

委員長に選出された町事業振興協議会の荻沢守会長は、「町出身者の応援も含めてみんなが意見を持ち寄り、テーマをしぼりながら産業の活性化を議論することが肝要」と抱負を語りました。



地域情報化検討会発足 (5月27日／役場)

朝日町をモデルにした地域情報化の検討会が、国や県、医療、通信関係者ら9人のメンバーで発足しました。これは、産業振興と地域の均衡ある発展には、都市部との情報格差解消が急務であり、そのために町の重要課題である高齢者医療・福祉システム等の導入を目的に、光ファイバなど高速通信網整備の可能性を探

るもの。町が抱える課題へのIT(インフォメーション・テクノロジー＝情報技術)活用について、活発な話し合いが持たれました。今後数回の会合を重ね、9月頃をめどに基本計画を策定することになっています。

また、検討会に先立ち「ヘルスケアITから地域ブロードバンド網への期待」と題した基調講演が、町内の区長や医療関係者など約80人が参加し行われました。講師の長谷川高志氏(東北大学先進医工学研究機構)は、「より質の高い情報網の整備には、クリアしなければならないハードルがたくさんある。やれない理由を探すより、やる価値を先に見出すことが重要」と語り、遠隔医療の実態を取り上げながら様々な可能性を持つ光ファイバー導入の必要性を訴えていました。



ふれあい荘増築工事起工式 (6月10日)

少子高齢化が急激に進む当町で、かねてから計画されていた、特別養護老人ホームふれあい荘のショートステイ(短期入所)及びデイサービスセンターの増築工事が始まります。これを受けて6月10日、町や同施設関係者、工事関係者ら40人が参加し、現地で起工式が行われました。

今ある施設の南側に、鉄骨平屋建てで床面積約1,014㎡のデイサービス・ショートステイ棟を建設するもの。これにより、デイサービスの一日の利用者は、これまでより10人多い35人に、しかもサービス空間を今までより広く取れるようになるほか、これまでにはなかったショートステイ専用の個室が9部屋設置されます。工期は来年の1月末日となっています。

神事で鉄入れを行った社会福祉法人朝日福祉会いしずえの保利貞雄理事長は、「新施設が完成後も、地域福祉の礎として町民の期待に応えられるよう職員一同努力していきます。各位のこれまでのご高配に感謝します」とあいさつしました。





自己記録へ果敢に挑戦！

町小学校陸上競技記録会

町内4校の小学5, 6年生が一堂に集い陸上競技記録会が5月19日、西五百川小学校グラウンドで開催されました。

「小雨にも冷たい風にも負けず、毎日頑張ってきた練習の成果を十分に発揮し、自己ベストをめざして疾風のようにゴールを駆け抜きたい。そして、競い合う中でも4つの学校が互いに仲良く力いっぱい競技します」と開会式の中で力強く選手宣誓したのは、大谷小学校6年の長岡佑治君と白田智七美さんの二人。

男女別及び学年別のそれぞれ7種目に競技が行われた結果、6年男子70メートルハードルでこれまでの記録を10分の3秒縮める大会新記録が誕生しました。その他の成績は下に記載のとおりです。



6年男子70mハードルで大会新記録を樹立した吉田光汰君（中央）



主な成績

(○内数字は順位)

【五年男子】

▼一〇〇M①菅井和貴(和) 16秒5②阿部駿(西)③佐藤泰貴(和)▼七〇Mハードル①阿部将大(西) 14秒5②白田庸記(大)③松尾宗親(宮)▼一〇〇M①布施雅也(宮) 3分57秒4②布施智基(宮)③安藤真生(大)▼走り幅跳び①阿部駿(西) 3m60②五十公野泰弘(宮)③村山伸樹(西)▼走り高跳び①村山渉太郎(西) 1m05②田川恭平(西)③齊藤一馬(西)

【五年女子】

▼一〇〇M①柴田明日香(宮) 16秒2②柏倉汐梨(西)③柏倉愛梨(西)▼七〇Mハードル①柏倉汐梨(西) 14秒0②阿部真里奈(西)③長岡ひかる(宮)▼八〇〇M①鈴木智美(西) 2分50秒9②堀春奈(大)③東海林このみ(大)▼走り幅跳び①柏倉愛梨(西) 2m90②阿部美咲(西)③清野愛(和)▼走り高跳び①柴田明日香(宮) 1m11②渡辺幸栄(西)③菅井梓帆(和)

【六年男子】

▼一〇〇M①村山和輝(宮) 14秒7②清野嵩悠(宮)③吉田光汰(宮)▼七〇Mハードル①吉田光汰(宮) 12秒4《新記録》



②白川達郎(西)③海野勇也(西)

▼一〇〇M①登坂高堂(西)

3分36秒②菅井翔太(和)③

菅井広文(和)▼走り幅跳び①

清野嵩悠(宮)3m77②鈴木鷹

也(西)③堀裕介(大)▼走り高

跳び①村山和輝(宮)1m15②

菅井皓太(和)③海野雄大(西)

【六年女子】

▼一〇〇M①若月未来(和)15

秒6②清野真好(宮)③村山瑞

貴(大)▼七〇Mハードル①深

澤雅姫(宮)12秒5②長岡亜美

(西)③清野詩織(宮)▼八〇〇

M①佐藤花保(宮)2分58秒0

②清野彩奈(和)③阿部円香(宮)

▼走り幅跳び①白田凜子(大)

3m31②清野真好(宮)③鈴木

希望(西)▼走り高跳び①若月

未来(和)1m16②佐竹由衣(西)

③熊谷千春(宮)③鈴木由優(宮)

【学校対抗】

▼男子4×一〇〇Mリレー①

西五百川A(登坂高堂・鈴木鷹

也・海野雄大・阿部良輝)1分

04秒2②大谷A③西五百川B

▼女子4×一〇〇Mリレー①

宮宿A(深澤雅姫・松尾泰葉・

鈴木由優・清野真好)1分03秒

0②西五百川A③西五百川B

※(西)：西五百川小(宮)：

宮宿小(和)：和合小(大)

：大谷小



海野3きょうだい3部門で優勝
西五百川相撲大会(6月4日)

まちの話題



きのこの菌打ち作業
上郷子ども会活動(5月8日)

①空気まつり(6月4日～5日／朝日自然観)

聖なる空気と恵みに感謝

清らかな空気とすがすがしい新緑の中、空気まつりが6月4日、5日の両日、空気神社及び朝日自然観を主会場に開催されました。

年に一度一般公開される空気神社本殿、浮島雅楽保存会による演奏、みこの舞、五穀豊穰祈願祭、お茶会(淡心会=鈴木綾子社中)、朝日自然観つり大会、町民グラウンドゴルフ大会、さつき展、山菜や漬物・ワイン・ダチョウのフランクフルトなど町内物産品の販売など様々な催しが行われ、町内外から多くの人が訪れました。

和合小学校の5、6年生の女子児童によるみこの舞は、かわいらしさの中にも大人びた雅さがあり、鏡となった空気神社に澄んだ空気と緑とともに映し出されました。

また、この度初めて、町地産地消推進協議会8団体による物産品の販売が行われ、農産物や漬物、手作り菓子、木工製品、手芸品、りんごの花茶「ゆらりんこ」などを多くの観光客が買い求めていました。



参拝者たちを魅了したみこの舞



幻想の世界へと導く大沼浮島雅楽

②グリーンクラブ(5月21日)

秋の収穫の時期が楽しみ

農作業を実際に体験してもらおうと、11年目を迎えるグリーンクラブが今年も始まりました。5月21日に開発センターで行われた開講式には、町内の4年生以上の小学生10人が集まりました。

専用の田畑に場所を移した一行は、トマトや里芋・カボチャなどの苗の定植、トウモロコシや二十日大根・ニンジンなどの種蒔き、餅米の田植えなどを体験。「元気いっぱい育ててネ」と語りかけるように、ほぐした藁や土をかぶせるクラブ員たち。素足で入る水田の感触に大はしゃぎしながらも、秋の収穫に期待を寄せるその目は、額の汗とともにキラキラと輝いていました。



③高砂大学(西部公民館)

抹茶の接待がお出迎え

5月26日、今年度の高砂大学が開校。74人の学生を迎えてくれたのは、女性

文化教室西部茶道部のみなさん。開校以来続いている行事です。

笑顔とお菓子と抹茶の接待に、にっこりと微笑み足取りも軽い学生たち。「みんなに喜んでもらえるのが嬉しい」と語る登坂富先生(ハツ沼)です。



④ 少年少女野球教室(5月13日／創遊館・5月29日／朝日中学校グラウンド)



疲労回復にはオレンジジュース

(財)山形県体育協会や町野球連盟などが主催する少年少女野球教室が5月13日、創遊館ホールで開催されました。野球スポ少「サンフラワーズ」の団員や朝日中野球部の部員のほか、保護者や指導者ら約100人が参加。3回に渡る教室の第1弾として、この日は栄養について学ぶ講演会が行われました。

「成長期の食事とスポーツ栄養」と題し講演したのは、東北パイオニアバレーボール部「レッドウィングス」コンディショニングトレーナーの山口喜代美先生。日本体育協会及び文部科学省公認のフィットネストレーナーでもある山口先生は、毎日の食事が基本とした上で、食生活と健康(心)との間には深い関わりがある

ことを強調。中でも「急激な運動により下がった血糖値を上げ且つそれを維持させるには、果糖とクエン酸を含有する100%オレンジジュースが効果的」と語りました。

体の軸となる足腰がポイント

5月29日、朝日中学校グラウンドで開催された第2弾の実技教室。朝日中の野球部員とスポ少のサンフラワーズの団員ら約90人が参加しました。

講師は、平成8年のペナントレースで優勝を決める試合のマウンドに立ち、みごと読売ジャイアンツを頂点に導いた川口和久投手(現プロ野球解説員)。

「常にボールと遊べる感覚が大切!」とボールの持ち方から指導にあたった川口氏は、「キャッチボールは野球の基本であると同時に、プレーを始める前の大切な準備でもある」と参加者たちに活を入れたほか、「ピッチングにしてもバッティングにしても体の軸となる足腰がポイント」と語り、下半身のリズムで体を動かすことの重要性を分かり易く解説しました。



⑥ ふしぎ発見隊(5月28日)

貝の化石見つけたよ!



宮宿小学校「歩こう!ふしぎ発見隊」が、5月28日に行われました。第9弾目となる今回は、化石探しとヒメサユリに会いに、小学校から能中一本松までの道のりを参加者約70人が歩いていきました。

化石探しでは、ハンマー片手に崖に上り、上手に貝やヒトデの化石を掘り出しました。棚田やヒメサユリを眺めながらの昼食会では、さわやかな風が薫る中、山菜汁をおいしそうに食べていました。



⑤ スポ少結団式・表彰式(5月16日／町民体育館)

新記録達成! 交歓交流長なわとび

町スポーツ少年団の本年度の結団式が5月16日、団員を募集している9団体から約170人のちびっ子団員が参加し、町民体育館で開催されました。

今年で7回目となる交歓交流大会「長なわとび競技」にそれぞれのチームが和と力を発揮。その結果、3分間で何回とべるかを競う「時間とび」の部門では、6年ぶりの記録更新となる144回でサンフラワーズA(野球)が第1位。1回の試技で何回とべるかを競う「連続とび」の部門では、4年ぶりの記録更新となる66回で朝日卓球が第1位となりました。

競技に先立って行われた結団式で阿部哲本部長は、「楽しく仲良く1年間頑張っていきましょう」と団員たちを前にあいさつ。

また、昭和63年から自然観スキーの指導者として選手の育成などにあたってきた阿部光一さん(大暮山出身)に、本部長から賞状が授与されました。



みんな の ひろば



今◆輝いて

自然の中でのパン作りが楽しくて…

さとみ 松本智美さん(常盤)



たという松本さん。東京在住時に知人から教えてもらったことをきっかけに、少しずつパンをつくり始めたとのこと。
引越してきて町内にパン屋がないことを

昨年の三月、家族で東京から朝日町に引っ越してきて一年。今年四月に、以前から行っていたパンづくりを本格的に開始。五月より『ruage blanc (ヌアージュ・ブラン)』というパン屋を始めました。

食べることや何かをつくることに好きで、もともとパンづくり、お菓子づくりに興味があった

知り「私がやるしかない！」と一念発起。古榎に作業場を借り、「おいしくて安全なパン」を、自然の恵みたっぷりの元氣が出るパンをテーマに、厳選した国産小麦をはじめ、朝日町産の林檎から起こした天然酵母や町内の水などの「素材」、酵母の働きを最大限にひきだす「手ごね」にこだわったパンづくりをしているそうです。

また、お店の名前の由来を尋ねると、「仏語でruageは雲、Blancは白。パンと言えばフランスですよ。そして、自然の中で最も心ひかれる白い雲と、自然の恵みから生まれるパンとのイメージを重ね、それを仏語にしました」とのこと。ここにもこだわりの何えそうです。そんな松本さんのあふれる思いがたくさん詰まったパンのレパートリーは現在七種類。毎週金曜日に創遊館で開かれる『サンに市』で、店頭販売されています。販売のときには、お客様からの意見やアドバイスを直に聞くことができ、参考になっているそうです。

最後に松本さんにとってパンづくりとは何かと伺うと、「生きる原動力。都会生活から変化し、自然の中でパンづくりをするのが楽しい。これから地域に愛されるパンづくりをめざしていきますのでよろしく願います。みなさんぜひ、『サンに市』にお越しください！」と笑顔で話してくれました。



各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第25回町民グラウンドゴルフ大会(六月五日／朝日自然観)

▽小学の部／①長岡咲樹(松程) ②鈴木俊佑(大町) ③長岡里実(松程)

▽男子の部／①《綾戸優勝》齊藤安男(常盤) ②白田謙悦(大谷五) ③白田詔夫(大谷五) ④稲村重雄(夏草) ⑤長岡清敏(太郎二) ⑥大津正一(立木)

▽女子の部／①村山クニヨ(太郎二) ②五十嵐ユキ子(舟渡) ③樋口正子(西町) ④齋藤アツ子(太郎二) ⑤安藤重子(常盤) ⑥若松久子(西町)

■第11回西村山地区陸上競技選手権大会兼山形県小学生陸上競技大会

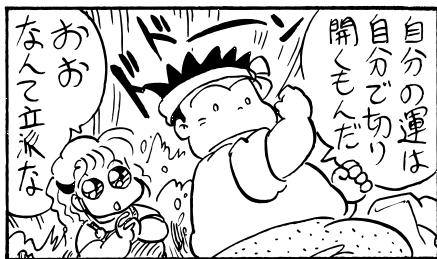
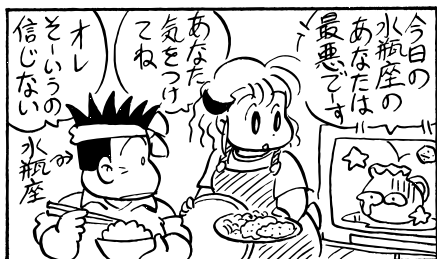
西村山地区予選会(六月五日／寒河江高等学校グラウンド)

▽小学女子八〇〇M

②鈴木智美(西五百川小) 2分53秒4【県大会出場】

▽中学女子八〇〇M

①近藤香澄(朝日中) 2分32秒9



今月の新刊

おすすめ本！

齋藤孝の実践母親塾



西町／

佐竹 ^{まさ}正敏 ^{とし}さん
^{あさ}麻美 ^みさん

二人が出会ったのは今から7年前。しかし、一度会ったきりしばらくは会う機会もなく…。正敏さんが成人式で山形に帰省したとき、1年ぶりに再会。このことがきっかけで交際がスタートしました。

交際当初は埼玉と山形の遠距離で、年に3回しか逢う機会が作れなかったそうです。でも、毎晩のように電話をしていたので、二人の心はいつも近くにありました。

正敏さんが山形に戻ってきてからも交際は順調で、麻美さんがバイトで夜遅くなった時、正敏さんは自分で作った大きなおにぎりとお茶を持ってきてくれたそうです。自分のためを思って慣れない手つきで作ってくれたことを思うと、麻美さんは疲れも忘れるほどうれしかったそうです。

笑顔のたえない明るい夫婦でいたいと話すとおり、お二人にはいつも笑顔があふれています。正敏さんは「父と母がこれまで築き上げた家族を守っていきたい、家族は必ず守ります！」と強く語ってくれました。「今のままの優しいだんな様でいてね」と、その姿を頼もしく、ほほえましく見つめる麻美さんの姿もまた、みんなに笑顔と幸せを運んでくれています。

齋藤孝の
実践母親塾
「子どもの
能力を確実に
引き出す！」

斉藤 孝 著

「どうして勉強するの？」この問いにどう答える？子どもは勉強すること、で頭がよくありません。勉強習慣のない子どもに勉強の楽しさを気付かせるために、母親がサポートする方法を紹介。無限の能力とやる気を引き出します。

人間、生きてるだけで、
ありがとう

野坂 礼子 著

人間関係に悩んだとき、恋愛に迷ったとき、仕事や病気でつらいとき、あなたを救う魔法の言葉「ありがとう」。幸運が舞い込んでくる一番簡単な方法なのです。運は偶然ではないのです。

50代からの休みかた上手

大原 敬子 著

本当に大切なもの、本当に好きなことをわかっていますか？自分自身を知れば、心身ともに心地よく休むことができます。ラジオニッポン放送「テレホン人生相談」アドバイザーが贈る心が軽くなるアドバイス。

▼懲りない男と反省しない女 (渡辺淳一) ▼幸福 (しあわせ) を売る男 (藤田宜永) ▼私という運命について (白石一文) ▼異物 (玄月) ▼恐怖の報酬 日記一酔酒混乱紀行 (恩田 陸) ▼昔日より (諸田玲子) ▼家、家にあらず (松井今朝子) ▼黒笑小説 (東野圭吾) ▼けい子ちゃんのゆかた (庄野潤三) ▼小説以外 (恩田 陸) ▼小判商人 [御宿かわせみ] (平岩弓枝) ▼子どもたちのアフリカー (忘れられた大陸) に希望の架け橋を (石 弘之) ▼リトルバーズ 戦火のバグダッドから (綿井健陽) ▼シャガールと木の葉 (谷川俊太郎) ▼転機の海外援助 (緒方貞子) ▼ゼロ成長の富国論 (猪瀬直樹) ▼風味絶佳 (山田詠美) ▼アイズ (鈴木光司) ▼幸福な結末 (辻 仁成)

みなさんからののおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日ごろ
感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp

■URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

戸籍に誤った記載 今後の対応策は？

今 から三十年程前に結婚し婚姻届を提出、故郷である朝日町に新戸籍を作りました。

その後、平成になってから千葉県内に戸籍を移しましたが、今年になって、戸籍に記載されている氏が間違った文字になっていることに気が付きました。納得のいく対応と改善策を示していただきたい。

【匿名】

大 事な戸籍を間違ってしまった。まして、本当に申し訳ありません。深くお詫びを申し上げます。

原因は、新戸籍を作る際に、タイプライターの活字を拾い誤ったことでした。今後はこのような間違いをしないよう、戸籍の届出があった場合には、これまでに以上に届出者の方と確認し合うと共に、複数の職員で対応し、相互に確認しながら誤りを未然に防げるよう十分に気を付けます。



なお、戸籍の記載が完了してから発見された文字の誤りを直す場合は、戸籍を

訂正することになります。戸籍の氏や名の間違いにお気付きの場合は、訂正の申し出をしていただくことで直すことができます。すし、戸籍の届出（婚姻届や転籍届）がある場合には、その時に届出書に書いてもらうことによつて直すこともできます。今後、このような誤りをしないよう注意し、戸籍事務にあたらせていただきます。

【税務町民課】

あさひまちの宝箱 vol.17

大朝日岳

朝日連峰は、磐梯朝日国立公園に指定されている、日本でも希な原始的景観が残っている地域です。さらに「21世紀に残したい自然



100選」、「国設鳥獣保護区」などにも選ばれているところです。そして平成15年には、日本で一番面積の広い「森林生態系保護地域」にもなりました。おそらく日本で最もよい自然が残っている場所だと思います。

その朝日連峰の主峰が大朝日岳（1870m）であり、その頂上朝日町に入っています。おそらく朝日町の町名もここからきていると思います。また西方にあるこの高い山に、東から出た太陽すなわち朝日が一番最初に当たるので、この名がついたとも言われています。

山麓から毎日のように大朝日岳を眺めていると、春の芽吹き、夏の緑陰、秋の紅葉、冬の雪景色とどの季節も美しく、そのピラミダル（ピラミッドのよう）な姿は、深田久弥氏の「日本百名山」に記されているように、朝日連峰の中でもずば抜けており「見まごうことなき顕著な存在」です。（西澤信雄 2003）

※あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。広報紙の折り込みはがきを利用しご応募ください。

あさひまち宝さがし実行委員会



町へ防犯灯を寄贈

五月二十四日、東北電力寒河江営業所長とユアテック寒河江営業所長が来庁し、町に防犯灯十基を寄贈していただきました。これまでも、毎年十基余りをいただいております。合わせて二百六十基余りが寄贈されたこととなります。

夕刻、子どもたちに「早く家に帰りましょう」と語りかけるように灯る防犯灯。今日も休みなく灯り続けています。



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
沼向	長岡 桃子	女	裕二・久美
西町	渡邊 紗代	女	吉則・康子
常盤	佐竹 萌	女	健・千恵



おしあわせに

佐竹 正敏
(西町)

鈴木 麻美
(山辺町)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
能中	伊藤 しげ	正一
松程	阿部 むめ	とよ子
宿	鈴木 昭壽	幸雄
本町	村山 はつゑ	邦昭
西町	松浦 タミエ	民男
本町	村山 ユウ	清司
高田	長岡 喜一郎	本人
古楨	渡邊 益雄	勝
石須部	長岡 与三	としゑ
栄町	鈴木 繁	良子
太郎三	大井 孫兵衛	壽一
大谷四	白田 正子	本人

人口と世帯数

●平成17年5月31日現在
人口 8,868人(減9人)
男 4,394人(減5人)
女 4,474人(減4人)
世帯数 2,565戸(増1戸)
()内 前月比

きょうの健康 あしたの健康

シリーズ 介護予防 其の2

今回は「転倒予防(足のトラブル予防)」についてのお話です。

私たちの身体を支える「足」。しかし、土台とも言える足の健康に気を配っている人は多くありません。足の爪や指にトラブルが起きると、どのような事が起きるのでしょうか。

トラブル発生!

痛みを感じると、身体を動かすのがおっくうになる。

すると...

外出する気力がなくなる。

さらに...

筋力が低下し、転倒しやすくなる。

そして...

転倒による骨折が原因で、寝たきりになるおそれも...

まずは「足」を観察してみましょう。

- ・皮膚の一部分だけ極端に色が変わっている。
- ・全体がかさついていたり、かかとにひびわれがある。
- ・水疱、傷、潰瘍がある。・水虫がある。・痛みやむくみがある。
- ・ウオノメやタコがある。・爪が変形している。
- ・巻き爪になっている。

こんな変化ありませんか? 大切なのは、①清潔にすること、②正しい爪の切り方を身につけること、③足をいたわることの3つです。中でも今回は「足のいたわり体操」を紹介します。家族みなさんでやってみてください。

足のいたわり体操

1 足首をゆっくりと数回ずつ、右と左にまわす。



2 かかとを手のひらでぐるぐるマッサージして、血液の循環をよくする。



5 足を両方の手で包み込むようにしながら、足首からひざに向けてマッサージする。



3 足の裏のまんなかあたりを、指でおす。



4 足の指とつめのまわりを、1本ずつマッサージする。



次号もお楽しみに!

役場健康福祉課介護支援係

☎67-2116

朝日町女性井戸端会議 参加者募集!

これからの活力ある地域社会の実現には、町民のみなさんの目線に立った行政運営と、女性の視点からのご意見が必要不可欠です。

子育て、介護、福祉、教育、各種イベント、地域の課題等、ともすれば男性による視点での対策が施され、結果、使い勝手の良くない施策などが多く存在しているはずです。これまでなかなか生かせなかった女性の声に、改めて耳を傾けてみようというのがこの「女性井戸端会議」です。

町づくりの課題など、あなたのご意見をぜひお聞かせください。

◆参加対象 朝日町に居住あるいは勤務する方。

◆第1回会議(発会式)

日時: 六月三十日(木)

午後7時30分

場所: 開発センター和室

◆申込方法 六月二十四日

(金)まで、役場政策推進

課地域情報係あて、電話

でお申し込みください。

申し込み・問い合わせ

政策推進課 地域情報係

☎67-2112

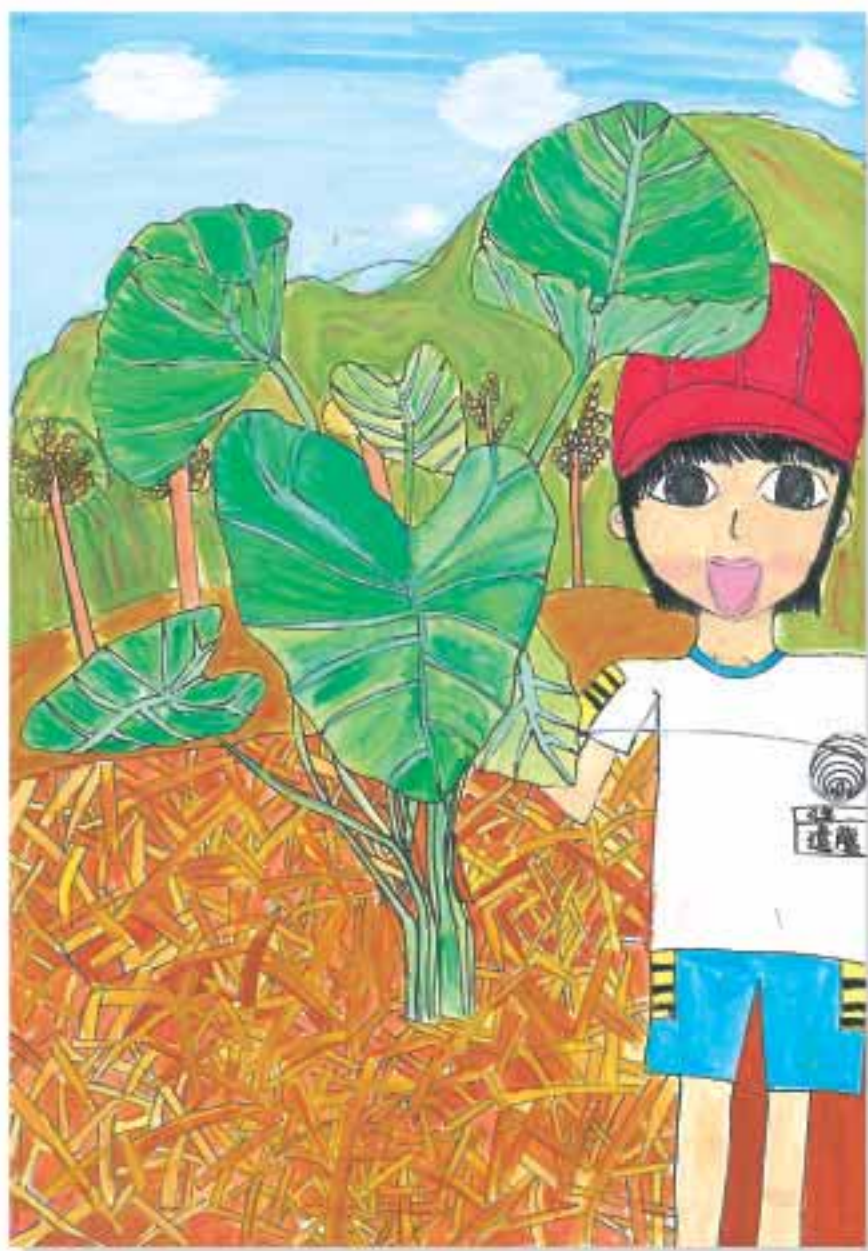
さがえ西村山農業協同組合主催

第4回「つるり」里芋体験農業・記録競技大会



金
賞

大谷小五年
遠藤由唯さん



学校の畑でみんなで育てたつるり里芋と、友だちの美弥ちゃんをかきました。がんばったところは、葉や空の色を少しずつ変えてそめたことです。あずかかったところは、土にカぶせているかれ草を一本一本こまかくかいたことです。

私は、絵をかくのが大好きなので、この里芋をかくと聞いた時はとてもうれしかったです。天気が良くて暑い日に、汗を流してがんばってかきました。今度家でもつるり里芋を育てるので、大きくなったら、学校の里芋とのちがいを感じながらまたかいてみたいです。

春夏秋冬

編集後記

夏日の日であっても、夕刻ともなると、心地よい風が事務室内を吹き抜けていきます。隣の町民体育館では、地区総体に向けて強化練習に励む中学生たちの元気の良いかけ声やボールを突く音、キックやパスと鳴るシューズの音、ホイッスルなどが鳴り響き、みなぎる活気が奮い立たされるような、そんな気分です。

二十四節気のひとつ「夏至」。今年は六月二十一日にあたりますが、この日に向かって、昼の時間は益々長くなっていきます。朱色に染まったまぶしい西の空を見上げながら、今のうちにも

っとこの光景を味わっておきたい。そう思うのは私だけでしょうか。

さて、第三次行財政改革の推進に向けて、新たなスタートを切った朝日町。住民と行政による「協働」がキーワードとなる活動が、これから様々な分野において展開されていきます。共に運営していく町政。めざすところは、「と(と)する」ために「目的が明確な施策」(「me」住民より良い施策)に「(near)住民に近いところでの施策」です。

ヒメサユリ 微笑みかける

雨あがり
(はやけん)



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。